

科目名： 21世紀のリーダーシップ開発

担当教員：

日向野 幹也（早稲田大学）、稲垣 憲治（立教大学）

時間数：

120時間（履修証明プログラム）

概要：

本プログラムにおけるリーダーシップとは、“Leadership without authority” すなわち権限がない状況で発揮するリーダーシップであり、1980年代から主に米国の研究者(Kouzes & Posner, Komives ら)を中心に概念が整理され、90年代以降米国および英語圏の大学で急速に正規科目として普及してきた現代的なリーダーシップである。

それを身につけるためには、理論の座学だけではなく、リーダーシップを必要とするような環境に身をおいてリーダーシップ発揮を試み、その過程と結果について互いにフィードバックし合い、さらに改良していくという David Kolb 的な PDCA サイクルを回すことが最も効果的であることが知られており、本プログラムはその知見に従って設計されている。

本プログラムでは、討議・相互フィードバック、学習内容の個別プロジェクトでの実践・共有、というプロジェクト型学習を行うことで、討議（ファシリテーション）スキル、フィードバックスキル、コーチングスキル、プレゼンテーションスキルといったビジネス・スキルを高めるとともに、自己認識・他者への影響力を強化するとともに、各自のリーダーシップ持論(Theory in practice)の整理、活動の振り返り（中間&最終）、各自の意識や行動に対する相互フィードバック、各自の持ち味を活かしたリーダーシップ発揮の仕方の内省を行う。

到達目標：

- ・自己と他者の理解を深め、どのように関わるのが目標達成に有効かを知る。
- ・グループワークのなかで傾聴・率直で建設的な意見表明・基本的なファシリテーションやタイムマネジメントができるようになる。
- ・困難な状況下においても、ゴールを設定し、人を巻き込み、自らの目標に向かって進んで行ける力を得る。
- ・各自の個性にあった様々なリーダーシップ発揮のあり方を体感し、自分の持ち味を活かしたリーダーシップのあり方に気づき、不断の改良と発揮の繰り返しを始めるようになる。

準備学習・前提知識：

- ・クラス全員共通の課題と各グループでの分担課題、併せて毎週3時間程度。

評価方法・修了要件：

毎回の出席状況、課題提出、最終課題（レポート）などを考慮し、総合的に判断する。

テキスト・参考書：

- ・授業実施時に随時案内する。